

地方公共団体財政健全化法に係る 健全化判断比率などの状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、本町においても平成29年度決算について算定した財政指標について、広報紙と町のホームページで数値を公表します。

また、平成20年度から義務付けられた計画策定に係る早期健全化基準や財政再生基準については、平成29年度決算では基準内の数値となっています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
弟子屈町の数値	－(※)	－(※)	12.9%	132.2%	－(※)
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%	(経営健全化基準) 20.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%		

※ 実質赤字比率は-2.02%、連結実質赤字比率は-3.67%と算定されていますが、国からの通知により赤字比率がマイナスとなる場合は「-」で表示することとなっているため表記のとおりとします。また、連結実質赤字比率の中に含まれる公営企業会計(水道事業会計・下水道事業特別会計)に係る資金不足比率においても、それぞれ-93.0%、-0.2%となっていますが、同じく「-」で報告をしています。

【早期健全化基準および財政再生基準とは？】

早期健全化基準を超えてしまった場合は、財政健全化計画を策定し、数値が基準内となるように自主的な改善努力を行うこととなります。具体的には事業を縮小したり、収入増のため町民の皆さんに使用料や手数料の値上げによる負担をお願いすることなどが考えられます。

財政再生基準を超えてしまった場合は、国などの関与による確実な財政再生を行うこととなります。財政健全化計画の策定はもちろんのこと、地方債の借り入れも制限され、新たな事業を行うことは難しくなります。また、国などの指導による再生となるため、町民の皆さんには相当な負担増が予想されます。

【今後の見通し】

現在のところ本町においては、上の表のとおり早期健全化基準などを超えておらず、今後についても基準を超えることは想定していません。しかし、財政状況が非常に厳しい状態であることには変わりがないため、引き続き徹底した歳入削減、歳入確保に努めていく必要があります。

問い合わせ先／役場まちづくり政策課財政係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

北海道胆振東部地震が発生 道内全域が停電に！！

防災ワンポイントコーナー

《9月6日(木) 3時7分 地震発生》

胆振東部にある厚真町を震源とするマグニチュード6.7、震度7の地震が発生しました。地震による被害は新ひだか町から札幌市までの大変広い範囲に広がり、停電のほかに、道路陥没、液状化、家屋倒壊、大規模な地滑り、断水などが発生しました。町内では、これらが原因で川湯地域では民放テレビが映らなくなり、一部の携帯会社の電話が繋がらなくなり情報収集が極めて困難な状況となりました。地デジ放送、スマートフォンの普及などで大変便利な世の中となりましたが、電気がないと全く何もできないということを見せつけられました。

《苫東厚真発電所の停止につられてブラックアウト発生》

道内の火力発電所は老朽化したところが多いため、いつまた停止するかわからないという状況にあります。厚真火力発電所4号機が復旧するのは11月末という情報もあり、今後は計画停電にならないよう、道民一丸となって節電に努め、この難局を乗り越えていかなければなりません。

今回の地震は真夜中に起きたことや、当町は震度2だったこともあり、停電となったことをしばらく知らなかった方が多かったと聞いています。また、スマートフォンを持っていても防災アプリを起動できるようにしておかないと遠くで地震が発生したことを知ることはできません。停電時にはテレビを観ることはできないので、ラジオなど複数の情報収集手段を持つておくことも必要です。

《町内の農業・観光被害も甚大》

今回、停電となった町内のほくでんの契約戸数約6,000戸の内、6日の23時過ぎには市街地や川湯温泉街などの約4,000戸が通電しましたが、町内全てが復旧したのは7日の22時頃でした。6日は、病院、警察、消防、行政機関が所在する場所を優先して通電させたことから、その近くの住宅の方も通電したようです。この時、釧路市やほかの町ではまだ通電していないところが多くありました。

6日の正午ころには役場1階と役場川湯支所に携帯電話の充電ポストを設置し、6日の17時には町公民館と川湯農村センターに自主避難者のための避難所を開設して、携帯電話充電ポストもその場所に引継ぎしました。

停電が長期化することを見据え、摩周湖農協や地元の電気設備会社などと共同で発電機により乳牛の搾乳を継続して被害を最小限に食い止めることができましたが、3日分の牛乳、約400tは廃棄せざるを得ない状況でした。

観光商工関係への損害も深刻で、北海道が危ないとの風評被害によりホテルなどの予約キャンセルが続いており、その被害額は町内経済全体で数千万円と見込まれます。



発電機を使用して搾乳を継続

《弟子屈町でも過去に大きな直下型地震が発生》

今回の地震の震源地の近くには石狩低地東縁断層帯という大きな活断層があり、この活断層の近くで地震が発生しました。直下型地震は震源が浅く(通常40km以内)、緊急地震速報が間に合わないこと、突き上げるような縦揺れが強いことなどが特徴で、弟子屈町では、今回と同じような大きな直下型地震が過去に3回発生しています。代表的なのは昭和13年の屈斜路湖底地震、同34年のペケレ地震などです。

《今後への備え》

今回の地震で得た教訓は、①身の周りにあるものの所在を把握し暗がりの中でも行動できるようにしておく。②寝床の近傍に懐中電灯を置いておく。③2ℓペットボトルなど数本に水を入れておき、毎日入替えておく(調理、洗濯、風呂水などに使い廻すと無駄になりません)。④オール電化などの家庭は石油やカセットガスなどのポータブルストーブやカセットガスコンロとボンベを備蓄しておく。⑤パック飯、レトルト食品、缶詰、クッキーなどを買い置きし、半年位でサイクル使用するなど。

皆さんがそれぞれ得た教訓を無駄にしないように早めに準備しておきましょう。

弟子屈町総合防災訓練を行います

町の総合防災訓練が10月2日(火)10時～13時、弟子屈町消防署において行われます。訓練内容は「長雨が続き後に奥春別を震源とする震度6弱の地震が発生したことにより、弟子屈消防署を拠点に避難所開設、避難者救護と輸送、救援物資の輸送、炊出しなど、防災関係によるさまざまな連携行動」について訓練します。先月号でも紹介しましたが、当日の飛び入り参加も可能ですので、ぜひご参加ください。受付は9時30分～10時です。現地では誘導員の指示に従って行動をお願いします。

問い合わせ先／役場総務課防災情報係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

ハロウィンジャンボ宝くじ 1等・前後賞合わせて 5億円!

◆発売期間／10月1日(月)～23日(火)まで(売り切れ次第、発売終了)

◆抽選日／10月30日(火)

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。
(町内では購入できません)



問い合わせ先／役場まちづくり政策課財政係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)